

## 中島クリニック 中島 敏雄氏

C型肝炎ウイルスは肝硬変や肝がんの原因となるウイルスで、日本でC型慢性肝炎の患者は150万〜200万人と推定されています。C型肝炎ウイルスには7つのタイプがあり、日本ではジェノタイプ1bと呼ばれるタイプが多く、全体の8割を占めています。困ったことにこのタイプのC型肝炎ウイルスは、インターフェロンなど従来の治療が効きにくい特性をもっています。

インターフェロンによるC型肝炎の治療が始まったのは25年ほど前ですが、インターフェロン治療でC型肝炎ウイルスが治るのは20人に1人程度でした。しかし、15年前にはインターフェロンに抗ウイルス薬（リバビリン）を併用することで、5人に1人が治るまでに治療法が進歩しました。その後、ウイルスが体の中で増えるときに必要な遺伝子配列が解明され、この動



## 錠剤飲むだけの新しい治療



なかじま・としお 慶應義塾大学医学部卒業、京都大学大学院医学部卒業。同大医学部付属病院、日本赤十字和歌山医療センター勤務を経て、平成15年中島クリニック開設。医学博士。日本消化器内視鏡学会認定内視鏡専門医。

きを止めることでC型肝炎を治す薬が海外で開発されました。日本では4年前からこの薬が使えるようになっていきます。さらに、ウイルスに直接効く新しいタイプの治療薬を組み合わせて内服する治療法（インターフェロンフリー治療）が、昨年末に認可されました。

インターフェロン注射を使う従来の治療は高熱などの副作用が避けられなかったのですが、新しいタイプの治療は錠剤を飲むだけで副作用も少なく、90%以上の高い治療効果が期待できます。お困りの方は、近くの専門医にご相談ください。

C型肝炎治療